

# I Heard the Bells on Christmas Day

かね ね き  
クリスマスの日に鐘の音が聞こえた

『I Heard the Bells on Christmas Day』は、19世紀アメリカで歌われ始めたクリスマスの歌です。歌詞

は、19世紀アメリカの詩人ヘンリー・ワーズワース・ロンゴフエロー (Henry Wadsworth Longfellow) の詩

もち うた く かえ ことば ちじょう  
が用いられています。歌に繰り返されている言葉 “Of peace on earth, good will to men” (「地上

へいわ ひとびと ぜんい せいしょ しょう せつ  
に平和、人々に善意あれ」) は聖書のルカ2章14節からています。

“Glory to God in the highest, and on earth peace, good will toward men.”

Luke 2:14

「いと高き 所 に、えいこう かみ ちじょう へいわ ひとびと ぜんい  
ところ あるように。地上 に平和、人々に善意あるように。」

ルカ 2章 14節

[Verse 1]

I heard the bells on Christmas Day, their old, familiar carols play,  
And wild and sweet the words repeat of peace on earth, good will to men.

クリスマスの日に鐘の音が聞こえた。その懐かしいクリスマスキャロル（聖歌）が流れる。そして勢いよく甘美に言葉が繰り返される、「地上に平和、人々に善意あれ」と。

[Verse 2]

Till ringing, singing on its way, the world revolved from night to day,  
A voice, a chime, a chant sublime of peace on earth, good-will to men.

鳴り響き、歌い進め、世界は夜から昼へと回転していた。ひとつの声、鐘の音、崇高な聖歌が「地上に平和、人々に善意あれ」。

[Verse 3]

And in despair I bowed my head: “There is no peace on earth,” I said.

“For hate is strong and mocks the song of peace on earth, good will to men.”

そして私は絶望のあまりに頭を下げる、「地上に平和はない」と言った。「憎しみは強く、『地上に平和、人々に善意あれ』の歌をあざ笑っている。」

[Verse 4]

Then pealed the bells more loud and deep: “God is not dead, nor doth He sleep; The wrong shall fail, the right prevail, with peace on earth, good will to men.”

すると、鐘はより大きく深く鳴り響いた。「神は死んでおらず、眠ってもいない。悪は滅び、正義が打ち勝つ。「地上に平和、人々に善意あれ。」